

さいと自動運転EVバス実証実験

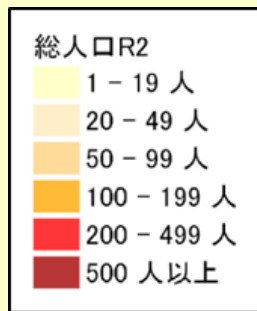
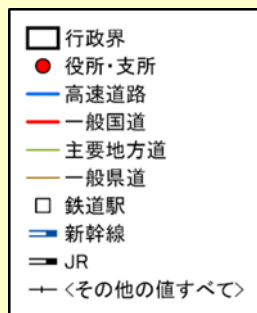
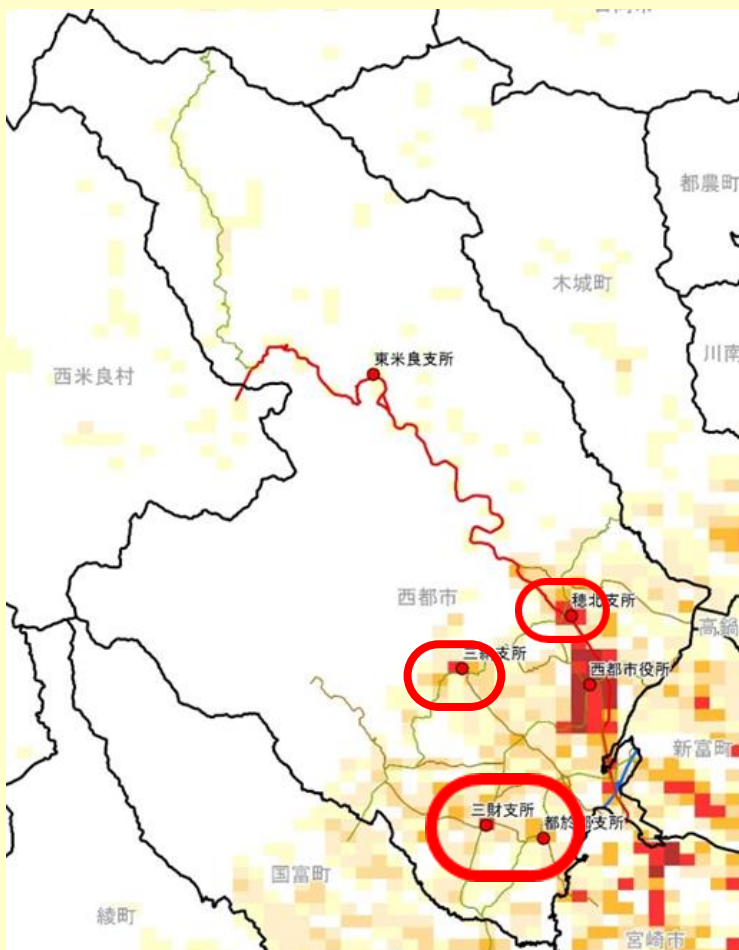


はじめるまち。
西都市

あなたのはじめるを応援するまちへ。

○経緯

- ▶ 歴史的背景：本市は昭和の合併により形成されており、面積が大きく人口分布をみても合併前の旧村の中心部に人口集積があり、人口が広く薄く分布している。
- ▶ 地域特性：昭和59年の国鉄妻線の廃止に伴い、公共交通の移送手段はバスのみとなった。



○昭和59年
(40年前)
国鉄妻線廃止



☆路線バス



☆コミュニティバス



課題①
公共交通の維持が厳しい

- ・利用者の減少
- ・運転士不足

運行の効率化

2つの課題を解決するため

自動運転技術を活用



さらに

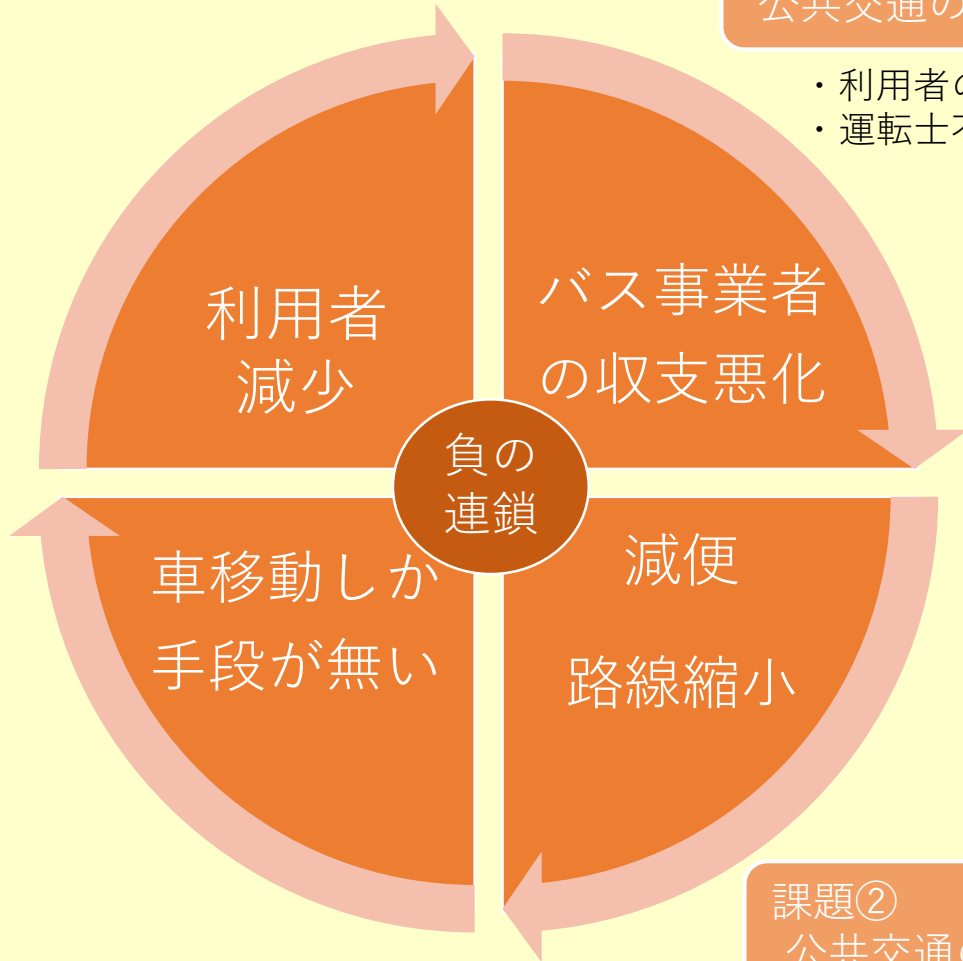
EVバス車両を活用し、
カーボンニュートラルな
まちづくりを目指します



課題②
公共交通の充実

- ・高齢化率 39.08%
(R6.7時点)
- ・65歳以上の
免許返納率1.4%

利用者の
利便性向上



だからこそ

県内初となる自動運転EVバスの実証実験を西都市が行う



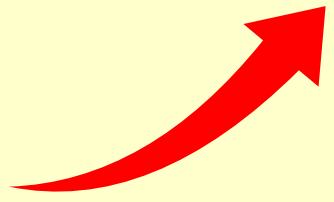
○令和6年度事業

市街地回遊



■スケジュール (予定)

- 走行期間 : 2024年11月上旬 ~ 2024年12月下旬
- 乗車可能期間 : 2024年11月下旬 ~ 2024年12月下旬



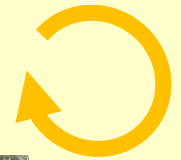
future



温泉施設との結節



観光地回遊



未来に向けてのスタート



はじめるまち。
西都市

あなたのはじめるを応援するまちへ。

宮崎県内ではじめて

自動運転 EV バスで
持続可能なまちづくりに挑戦！

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

産官学連携

さいと自動運転推進コンソーシアムの締結

宮崎交通



西都市

三和交通グループ
Sanwa-kotsu Group

NTT
西日本

宮崎大学
University of Miyazaki

NICHINAN GROUP

持続可能な
西都市の実現へ

デジタルの力



運行管理システムで
自動運転の安全性を確保

カーボン
ニュートラル

CO2 を排出しない
電気自動車を採用

